

平成 2 2 年 萩市議会 6 月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	19	西 元 勇	6月21日午前
2	22	諸 岡 皓 二	
3	24	横 山 秀 二	午後
4	10	広 兼 義 烈	
5	9	中 野 伸	
6	3	西 中 忍	
7	21	宮 内 欣 二	6月22日午前
8	13	斉 藤 眞 治	
9	15	世 良 眞名夫	午後
10	7	尾 木 武 夫	
11	17	中 村 洋 一	
12	2	関 伸 久	6月23日午前
13	4	椋 晶 雄	
14	12	木 村 靖 枝	午後
15	5	大 村 赳 夫	
16	1	佐々木 武 夫	

質問順位	1	質問者	西元 勇 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．防災対策について	1．羽賀台残土捨て場の防災対策を問う		
2．口蹄疫の防疫対策について	1．国指定天然記念物「見島ウシ産地」に対する口蹄疫対策を問う		
3．文化財行政について	1．地震・火災に対する文化財対策を問う		

質問順位	2	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1.鉛公害について	1.山田地区のクレ-射撃場付近の安全対策について (1)現状について (2)今後の対応策について		
2.福祉行政について	1.福祉施設対策について (1)高齢化社会での現状について (2)今後の対応策について		
3.少子化問題について	1.17年間の行政のプロとしての少子化対策について (1)なぜ少子化なのか (2)今後の対応策について		

質問順位	3	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. ケータイの不感地区解消について	1. 解消に対する予定について 2. 避難場所、ドクターヘリの発着場所の不感解消時期は		
2. 旭地域の診療体制について	1. 診療所の体制改善について		
3. 24H緊急医療センターについて	1. 現状の進捗状況について		

質問順位	4	質問者	広兼義烈 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の人口動態について問う	<p>1. 新市建設計画は平成27年の目標人口を53,000人としている。 なんとしても達成しなくてはならない。目標に向けての今後の重点施策を問う。</p> <p>2. 人口減少に地域差がある。その要因について問う 合併後年々800人以上の人口が減少している。 なんとかして人口減少を鈍化させたい、できることなら増加させたいというのが市民の気持ちだと思う。過去5年の人口動態（住民基本台帳による。）をみると旧町村の人口減少率は福栄地域を除き10%以上になっている。過去にない大幅な減少である。一方、旧萩市の減少率は6%強である。なぜこのような差が生じたかということである。</p> <p>3. 高齢者に対する行政サービスの一層の充実を 市の高齢化率は34.15%(旧萩市、川上を除き40%を超えている。)県の高齢化率は28%程度である。 高齢者に共通的なことは医療、介護、交通手段の確保という点にある。独居老人は約3,000人おられるということで実情にあった行政サービスの提供を求める。</p> <p>4. 限界的集落に対する支援策の強化を 市の資料によると集落（町内会）数は383で、そのうち、限界的集落が58、危機的集落が11あるということである。 建設計画では市民主体のまちづくりを掲げ、地域住民自らが主体となった地域社会の実現を目指していくとあるが、危機的集落等は集落機能を維持するエネルギーを失いつつあり行政の支援が必要と思うがどうか。</p>		
2. 第一次産業の振興策について問う	<p>1. 第一次産業は大切な産業だといわれているが、元気のいい産業とはいいい難い。農業はご存知のとおり。林業にいたっては業として成り立たないといわれている。漁業は魚がとれない、魚価は安い、消費は伸びないという現状である。 中山間地域は第一次産業への依存度が高い。それだけに第一次産業が衰退すると即、集落が衰退することになる。</p>		

	<p>農業では生活できない。農業をする者がいない、したくても体がいうことを利かない。その現状をどうしたら改善できるのか。</p> <p>特効薬があれば誰も苦労はしない。ないからこそ汗をかき、知恵を出し合わないとは先はない。市が手をこまねいているとは言わないが、もっと現地に出向き関係者と話し合い、住民の立場で施策を練り実践するという姿勢を示していただきたい。</p> <p>市だけでは力不足ということになったら県や国を動かす行動も大切なことだと思う。</p>

質問順位	5	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 消防・安全の推進について	<p>1. 消防水利施設の充実について</p> <p>消防力については、住民の生命財産を守るため、萩市内各地域において整備計画に基づき整備が進められているが、いまだ集落においては消防力が発揮できない箇所がいくつかあると聞く。調査は万全と思うが、今一度、机上訓練等で見落としはないか早期に消防水利施設の充実を。</p>		
2. 観光の振興について	<p>1. 萩市のPR作戦について</p> <p>看板塔の設置</p> <p>山口国体が23年10月に開催されます。萩市も軟式野球をはじめ4つの競技が実施されます。</p> <p>初めて萩を訪れる方もいて、主要道路の境界に例えば国道262号の山口市から萩への玄関口に看板塔を設置され市民の心のこもったおもてなし、萩のPRに知恵を出しては。</p> <p>2. 旧萩有料道路の料金所跡のゲートに「ようこそ萩」、「またきて萩」は上記の看板塔に標示されては。</p>		
3. 道路網の整備について	<p>1. 生活道路の整備について</p> <p>市道鈴毛台線は、大根の産地千石台の生産者にとっては、命の道路といっても過言ではない。</p> <p>平成6年に着手され平成15年にかけて工事が進められて合併の話が持ち出され平成16年から現在ほとんど進んでいない。</p> <p>生産者はもちろん、土地提供者も今か今かと首を長くして待っている。</p> <p>生産者の思いが心に届くよう早期に完遂されては。</p>		
4. 高齢者保健福祉の推進について	<p>1. 介護老人福祉施設整備事業について</p> <p>市長の施政方針に「現在、我が国では、人類史上例のない高齢化が急速な勢いで進行している」と述べておられる。まさにそのとおり。</p> <p>同時に在宅介護の家庭はますます多く、家族の負担は大きいのしかかる。生活にも困難を増し、中には介護に疲れ若い自殺者も増えている。</p>		

	<p>どうしても、施設にお願いしなければならない。 しかし、待機者が市内 8 つの施設に複数ではあるが、 900人近い人が空きを待っている。 この現状に、介護福祉施設の整備に市の対応は。</p>

質問順位	6	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．少子化・子育て問題について	1．出生数の減少が続く現状を踏まえ、少子化・子育て問題に取り組む市長の姿勢と決意について 2．学童保育について （1）時間延長や帰宅時の安全確保について 3．子ども・子育て世帯が抱える諸問題に対し、総合的にワンストップで対応できる、子ども・子育て総合サポートシステムの創設とセンターの整備について		

質問順位	7	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新萩図書館の運営について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 市民との共同運営の具体的な方法について 2. 図書館運営とNPO法人の関係について 3. 司書職員の配置について 4. 3つの図書館の今後の運営について 		
2. 若者文化振興への支援について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 若者文化振興への取り組みについて 2. ライブハウスの状況 3. 施設整備など若者文化活動への支援について 		
3. 公共事業と公正・公平性の確保について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 4月の職員懲戒処分と行政の説明責任について 2. 業者と職員などの関係についての実態調査について 3. 公共事業の公平性確保について 		

質問順位	8	質問者	斉藤真治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 離島における精神科疾患の対応について	1. 離島(見島)の精神科疾患患者に対する支援について問う		
2. 図書館・児童館の運営について	1. 新図書館・児童館の運営方針の進捗について問う (平成22年3月定例会の継続質問)		
3. 公立保育所の今後のあり方について	1. 新指針に基づく公立保育園のあり方について問う		

質問順位	9	質問者	世良眞名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．雇用対策について	1．現状及び現状認識は 2．今後の取り組みは		
2．世界遺産について	1．現在の認識について 2．これからの萩市における長期ビジョンは 3．それぞれの遺跡の維持管理は		
3．全国伝統工芸品フェスタ in 萩について	1．萩市の受け皿について		
4．市職員の人事評価制度について	1．現状は 2．どう進めていくのか		
5．学校の問題行動について	1．09年度本市学校問題行動の実態について 2．今後の対応策について		

質問順位	10	質問者	尾木武夫議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 一次産業の振興	<p>1. 集落営農の推進と担い手として経営できる規模を持っている個人の育成</p> <p>2. 高齢化社会での農業のあり方</p> <p>3. 担い手の育成</p> <p>4. 農林漁業が産業として採算に見合う経営 (戸別所得補償、農産物販売の市場原理、農商工連携や六次産業化)</p>		

質問順位	11	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 総務行政	1. 合併して5年、どこから萩市 (1) 市民相談への窓口対応 (2) 市職員の意識を一つに		
2. 保健福祉行政	1. 子宮頸がんから女性の命を守るために		
3. 消防行政	1. 職員数は適正と考えているか 2. 火災警報器の設置について		

質問順位	1 2	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．若者の雇用対策について	<p>急激な人口減少、急速に進む高齢化社会を迎える萩市において、若者の定住、UIJ ターンの促進はこれからの萩市を支える極めて重要な礎である。</p> <p>しかしながら、若者が定住する為に必要な雇用がないことも、現在の萩市における大きな課題となっている。</p> <p>については、この課題に対処すべく、萩市が雇用対策として現在取り組んでいる施策、また今後取り組んでいく施策についてお伺いしたい。</p>		
2．市議会議員の定数について	<p>これまでの萩市においては、市議会議員の定数は市議会議員が主体的に定数を取決め、そして削減してきた経緯がある。</p> <p>しかしながら昨今においては、名古屋市、また先般市長選挙が行われた防府市を例として執行部がその定数削減に言及するケースが増えてきている。</p> <p>については、萩市の現在の市議会議員定数「26」が妥当な定数なのかどうか、執行部としての考えを率直にお伺いしたい。個人的には近隣他市と比べ、萩市の議員定数は多く削減すべきとの考えである。</p>		
3．姉妹都市「蔚山広域市」との交流について	<p>6月9日付の毎日新聞によれば、昨年の山口県内への観光客は減少し、特に下関、そして萩の減少率が高いとの発表がなされた。</p> <p>今後、国内人口の減少に伴い、国内の観光需要だけでは、萩市における観光産業の先細りも否めない。</p> <p>については、海外からの観光客の流入、特に姉妹都市提携を結ぶ「韓国・蔚山広域市」との観光、経済交流に期待したいが、現時点における「萩市」と「蔚山広域市」との交流事業、また今後の展望についてお伺いしたい。</p>		

質問順位	13	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高齢者の移動手段について	<p>1. まあーるバスやぐるっとバスを補完する移動手段の検討</p> <p>(1) 各地域の団体(NPO法人など)が柔軟性のある交通・移動手段を提供し、医療、買い物など的高齢者の移動ニーズに対応することを目指すべき。</p> <p>(2) そのために、路線バス・地域のタクシー業者なども交えた検討を進めたいと考える。</p>		

質問順位	14	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農林水産業の振興について	1. 収益のある農業経営の取り組み 2. 農業集落の活性化について 3. 儲かる水産業の取り組み 4. 水産資源の減少化傾向にどう対処されるのですか 5. 採算のとれる林業経営にするための施策について (私有林野の維持・管理)		
2. コミュニティ活動とグリーンツーリズムで地域の活性化を図るお考えを問う			
3. まちづくり行政	1. 中心市街地の雨水対策について		
4. 道路行政	1. 萩東道路建設計画・国道191号のバイパス構想の現時点での状況について		

質問順位	15	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 菅政権で萩はどうなりますか	1. 経済・観光・道路課題についての見通しをきく		
2. 萩陶芸展示施設開館について	1. その効用と活用についてきく 2. 周辺のインフラ整備・道路・施設についてきく		
3. 豪雨対策をきく	1. 雨水対策計画についてきく		

質問順位	16	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 離島及び僻地の医療機関等に係る交通輸送助成について	1. 医療機関に受診並びに支払いなど本人及び家族に対する船賃負担軽減と輸送手段への配慮・助成について		
2. 大井川災害対策について	1. 安全対策 2. 農地の利権と助成策		
3. 企業誘致の取り組みについて	1. 財政基盤作りの提言		